

間違えて花みずきの木、切ってしまったのだ号

ブル通信

2205

物価高をぶち壊す

高い、なんでもかんでも値上がりしやがってわしら庶民の暮らしはどうなるのだ？と、いう事で昨今の物価高をぶち壊す記事なのであるが、政府の役人でもない町内会の役員にすら選出されない俺に物価高をぶち壊すなどと大胆な事は出来るはずもなく言ってみただけである。しかしながら物価高をぶち壊すことは出来なくても、節約のプロとして生きてきた歴史は長いのである。思い起こせば若い頃、友人が容器に穴があいたという理由で捨てようとしたカップヌードルをただで貰い、カップヌードルの具である小さいカマボコ？みたいなものを家にあったセメダインで貼り付けて穴を埋めて食べたこともある俺である。

さてそんな私は過去、色々な節約術を試してきたがネットとかで検索してやってみると実際のところ、大した節約にならないものがほとんどであったが、昨年やってみた節約が簡単でかなり効果があったのである。たぶん探せば日本どこでも出来るはずなのでその紹介である。

今電力自由化によって〇〇電力みたいなものが日本全国にあると思う。ガス屋さんなんかをやっているケースが多く、うちにもチラシが入っていたのである。チラシを見たら初年度1回きりだが6000円値引き、さらに電気料金の明細書で計算してもらった月額250円は安くなる。さらにうちの場合、風呂とかで使う灯油も同じガス会

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は 過去に...

ガッツのお車の
ご購入
ご売却
車検
修理
査定
見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

社が入れているのだが1年間、リッター5円の割引、これは上記の割引、やるのは単に契約書を書いただけ。これで1万円は大きいのであった。これはおススメなのであるがさらに知人から耳寄りな話をきいたのである。
知人は昔、プロパンガス大手に勤めていたらしいのだがある話からわしらが都市ガスは安いとプロパンは高いと言ったら、驚愕の事実を教えてくれた。それは都市ガスは同じエリアなら全部値段は一緒だがプロパンの値段は交渉次第らしい。つまり知人はストーブなど全てガスにしてその代わり相当値段は安くさせているらしい。交渉次第でプロパンはかなり安くできるため、知人の家は都市ガスより安い単価となっていると言っていた。わしは試してはいないが本当の話のようであった。一度聞いてみるというかもしれない。

私、決して怪しいものではありません

先日の話である。休みが来るたびにひびよりに悩むのである。あの家の中のピリピリした雰囲気というか居場所がないというか、だから休みの数日前になるとうんどこか行くとこは無いのか？と悩むのであった。それも毎回毎回考えるのは大変なので何かシリーズ化してどこかに行けるような企画を作れないだろうか？と悩んでいた時で

ある。新聞をいつものようにボーッと見ていたら巡礼の記事が出ていたのである。そうである。霊場の巡礼である。おお!!!これはいい。さすらいの巡礼者、霧にむせぶ巡礼者、真の人生を求める巡礼者、おお!!!絵になる。素晴らしい。と言うことで調べてみたのであるが、霊場と言えはやはり四国である。しかし四国は遠い。しかも車で行ったたりしたら霊場1か所につき200円とか300円とか駐車料金がかるようである。(無料の所もある) 自転車で回るかあ!とも思ったが四国霊場は全部で1400キロ、回りきる前に確実に拝む側から拝まれる側になるのは間違いない。そこで調べてみたら霊場というのは結構全国にあつて北海道にもあるし、東北にも、関東にも中部、関西とほぼ日本全国にあることがわかった。ただ四国ほどメジャーではないがそれなりにきちんとしているらしい。その中で車で3時間以内で行けて全部回っても200キロ程度、これならエリアをブロックに分けてブロック単位で自転車で回り、夜は車中泊すればお金はあまりかからない。しかも継続的に行って家を出る理由ができるのである。何か文句を言われても、控えろ!控えろ!我は真理を求める巡礼者であるぞ!と家人に言い放つことができるのである。自転車を車に積んでベース地点に車を置き、ブロック内を自転車で巡礼して夕方、車に戻ってスーパで何か買って食べればいい。そうだ。これだ。たぶん暇を見つけては(いつも暇ではあるが)行つて10泊とかしたら全部回れるのではないだろうか。場合によっては巡礼者さま、今夜は我が家にお泊り下さい。と綺麗なねーちゃんに誘われることも無きにしても非ずである。(たぶんないとは思ふが)という事でさっそく巡礼を決行したのであった。

初日は最も回りにくい離れ島の霊場、これがA島、B島、2か所あるのである。ここは渡し船と徒歩エリアとなる。A、B両島行つて往復で確か1560円。まあ妥当である。まずA島の霊場、ここは1か所である。下船して徒歩2分くらい。めっちゃ近い。拝んだあと、御朱印帳に朱印を押し

て頂きおごそかな気持ちで船着き場に向かったのだった。霊場には巡礼と思われる30代くらいの女性が1名いた程度、それほどたくさんの方が来ているわけでもないらしい。

A島からB島、40分ほど船を待つて到着、こちらは霊場が3か所、地図を見ながら歩いているとさきほどA島の霊場にいた女性もやはり地図を見ながら歩いているがいまひとつ目的地がわからない様子。ここは巡礼者同士、助け合わなければという殊勝な気持ちから、どうもこちらの方向のようですよ。と声を掛けてあげたらあ、はあ、というように返事にもならない返事が返ってきたが同一方向にちメートルほど距離を開けながら巡礼者同士、歩き出したのである。その時に全く他意はないが社交辞令も含めて、どちらからいらつしやったんですか?とおしが声を掛けたときであつた。明らかに女巡礼Aの顔色が変わり、歩いていた足を止め、何か不審者でも見るような目つきでわたしを見るではないか!誓つて下心があるとかみだらな気持ちがあるとかそういう事は全くなく、本当に社交辞令として声をかけたまでである。だいたい好みのタイプではないのである。女巡礼Aは立ち尽くしているのわしはその場にいるのも不審なのでそのまま歩きだしたのであるが、真理を求める男巡礼Bに対して失礼であろう。それほど何か不審者らしき恰好をしていたかと改めて自分の恰好を見てみたが、いつも着ているジャージ上下、確かに正しい巡礼者のような白装束ではないが、一般的に言えばただのサnderオヤジの恰好であり特に疑われるような服装でもないし、象のお面をかぶっていたとか、チョンマゲであつたとか不審な恰好をしていたわけではないのに謎である。気を取り直してその後、3か所の霊場を巡りすがすがしい気持ちで船着き場まで戻つたのであるが、その後女巡礼Aを見かけることはなかったのである。あれはなんだつたのであろうか?謎である。

続く・・・かもしれない